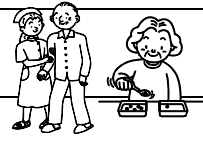
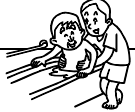


神戸広域脳卒中地域連携診療計画

患者氏名	
病 名	

説明年月日		患者署名	
入院時の 症 状			

病 期	急 性 期		回 復 期		維 持 期	
場 所	(急性期の治療を行う病院および主治医) 神戸市立医療センター中央市民病院 _____科 _____		(回復期のリハビリを行う病院および主治医)		(在宅・療養施設)	
標準的な期間	入院日 _____年 _____月 _____日 約()週		約3か月程度			
達成目標	急性期の治療、合併症の治療、再発を防ぐための治療を行います		機能の改善を目的とする回復期のリハビリを行います 合併症の治療、再発を防ぐための治療を行います		生活をしながら、機能の維持を図ります 合併症の治療、再発を防ぐための治療を行います	
退院・転院基準	1. 脳卒中中の急性期治療が終了し、全身状態が安定していること 2. 日常生活になんらかの介助を要すること 3. リハビリの継続により、日常生活動作の向上が見込めること		1. 日常生活や歩行能力の改善目標が達成された、または1か月の変化が見られなくなった 2. 自宅復帰や施設入所の準備が整っていること			
治 療	身体の状態に合わせて、手術、点滴、薬を服用します 		身体の状態に応じて点滴や薬などの治療を行います 			
検 査	状態を調べるため、採血やレントゲン、CT、MRIなどの検査があります 		身体の状態に応じて検査を行います			
リハビリ	発症早期のリハビリを行います 		機能回復を目的としたリハビリを行います 		必要がある場合には、維持期のリハビリを行います	
	安静度に応じて、早期からベッド上でリハビリを開始します ⇒座る、立つ、車いすに移る練習などを行います ⇒コミュニケーションをとるための練習を行います		・各療法士が病状に応じてリハビリを行います ・できるだけ自分で行う生活につなげていくためのリハビリを行います		持っている機能を保てるように、日常生活の中でのリハビリを行います	
食 事	状態によって、管や点滴から栄養をとることもあります ⇒飲み込みの状態を確認し、食事を開始します 		できる限りの自立を目指します 自立困難な場合は介助量を軽くするような方法をくふうし、練習します 			
入 浴	 体を拭きます ⇒安静度や状態によってシャワーや入浴ができるようになります ⇒部分的に手伝いながら段階的に入浴の練習をしていきます					
排 泄	状態によって、管が入ったり、ベッド上で排泄していただくことがあります ⇒状態に応じた排泄方法を考えていきます ⇒車いすで、または歩いてトイレに行きます 					
退 院 時 日常生活動作 評 価	(日常生活機能評価) 退院時 ()点 / 19点		(日常生活機能評価) 入院時 ()点 / 19点		退院時 ()点 / 19点	
説 明 連 絡 相 談	病気と今後の治療について説明があります 転院に関する相談、退院先の医師や看護師などと相談して退院の準備をします		今後のリハビリ・治療について説明があります 介護保険などの説明があります		今後の治療について担当医から説明があります	